

新居浜市立中萩小学校 ものづくり体験教室を開催（事業報告）

平成28年2月23日（火）、新居浜市立中萩小学校において、愛媛県板金工業組合と愛媛県技能振興コーナー（愛媛県職業能力開発協会内）との共催で、ものづくり体験教室を開催しました。

6年生184名の参加があり、建築板金職種の体験として「銅板レリーフ」に挑戦しました。

愛媛県板金工業組合の組合員さんの指導の下、事前にかけてきた「手形」のデザイン画を銅板に写す、そして割り箸を使い銅板に凹凸を入れ、手形や文字などを浮き上がらせます。さらに全体に液を塗り、重厚な色の銅板が出来上がりました。

額に入れ、卒業が間近になった6年生に最適な記念作品が完成。みんな大切に持って帰りました。



レリーフ手作り 卒業の思い出に 新居浜・中萩小

新居浜市中萩町の中萩小学校でこのほど、ものづくり体験教室があり、板金職人から銅板加工技術を教わりながら、6年生約180

人が卒業記念のレリーフ作りに取り組んだ。ものづくりへの関心を高めようと、県板金工業組合と県職業能力開発協会が初めて開催。組合の30〜50代の職人約20人が講師を務めた。児童は4〜6人ずつの班に分かれ、自分の手形をデザインした銅板レリーフを制作。B5サイズの銅板の裏面に、割り箸を押し当てて表面に凹凸を付ける技法に挑戦し、真剣な表情で作業に没頭して



板金職人に教わりながら銅板レリーフを仕上げる中萩小児童

いた。講師らは「手のひらのしわを丁寧に書き込むと本物らしくなる」などと班ごとにアドバイスしていた。最後に硫黄の溶液をくぐらせ、黒く変色させて完成。伊藤慶思君(12)は「うまくできた。自分の部屋に飾って毎日眺める」と仕上がりに満足げだった。

(末光徹)

愛媛新聞 平成28年3月1日8面掲載
転載承諾No.G20170301-02712